

対象がん腫	レジメン番号	レジメン名	インターバル	催吐性	血管への影響
胚細胞腫瘍	R06201	BEP療法(高催吐)	21日	高度	エトポシド:炎症性 シスプラチン:炎症性 ブレオ:非炎症性
留意事項					
経口制吐剤:アプレピタント125mg(day1),80mg(day2,3,(4),(5)) 水分摂取の励行:シスプラチン投与当日点滴前飲水1L、点滴後飲水1L、day6~day7まで1日飲水1L					

Rp	薬品名	投与量	投与方法	d1	d2	d3	d4	d5	d6	d7	d8	d9	d10	d11	d12	d13	d14	d15	d16	d17	d18	d19	d20	d21
1	グラニセトロン点滴静注バッグ3mg/100mL デキサート6.6mg注/2mL	1本 1本	点滴 0.5時間	↓	↓	↓	↓	↓																
2	エトポシド点滴静注液 5%ブドウ糖注射液(500mL)	100mg/m <sup>2</sup> 1本	点滴 2時間	↓	↓	↓	↓	↓																
3	シスプラチン注 生食[500mL]「光」	20mg/m <sup>2</sup> 1本	点滴 2時間	↓	↓	↓	↓	↓																
4	生食『100mL』(光)生理食塩液	1本	点滴 10分		↓	↓	↓	↓			↓							↓						
5	ブレオ注射 生理食塩液(光)(100mL)	30mg/body 1本	点滴 1時間	↓							↓							↓						
6	生食『100mL』(光)生理食塩液	1本	点滴 10分	↓							↓							↓						